

ごけん

平成21年

秋

号

日本語検定 実施予定

平成21年度第2回(通算第6回)

[一般会場] **11月7日(土)**

[準会場] **11月6日(金)・7日(土)**

[申し込み期間] **8月1日(土)~10月9日(金)**



日本語検定公式キャラクター「にほごん」

もくじ

ごけんメッセージ 梶原しげる	2
ごけん情報板	4
採点室から	5
ちょっぴり教えてしまいます 「日本語検定」受検テクニック!!	6
ごけん質問箱	7
受検団体の声	8
宣伝会議賞/日本語大賞のお知らせ	10
にほごん にほんご劇場	11
受検案内/プレゼント・クイズ	12



「日本語能力の格差」が広がっている

整形外科医や美容師、メイクアップアーティスト。見た目の変身に特化して淑女に仕立て上げようとするものばかり。

ところがこのミュージカルでは、変身企画の中心人物が「言語学者」ヒギンズ教授であるところがいかにも英国だ。

物語の舞台、英国は階級社会。上流階級と庶民階級では、衣食住はもちろんだが、最も顕著な差は使用する言葉。そこで、変身させる最大のポイントは、「コックニー」と呼ばれるロンドンの下町っ子が喋る粗野な発音や表現を徹底的に改善し、貴族階級が使う正統派英語を使えるようにすること。

大地真央さん主演の日本版を見ると、変身前の彼女は、「江戸っ子のベランメー調」でロンドンの下町庶民階級が使う「コックニー訛り」を表現していた。

教授の厳しい言語学的レッスンで、発声、発音、語彙、言葉遣いが変わる。すると彼女は、表情しぐさに至るまでがレイディーそのものになっていく。そうして手にした「正統派英語」を通行手形にして、彼女は上流階級の人々の暮らしの中に入って行く。所属する階層と言語がダイレクトに結びついている英国ならではの物語だなあと感心しながら、ふと思った。「格差社会」が問題化している現代の日本。このミュージカルを他人事として見ていられないのではないかと。

■「格差社会」はミュージカルだけの話ではない

「マイ・フェア・レイディー」というミュージカルをご存じだろう。下町のはすっぱな花売り娘を、上流階級で通用する一流のレイディーに仕立て上げ、社交界にデビューさせるという「変身物語」だ。

日本のテレビでもしばしば「変身企画モノ」が放送されるが、そこで活躍するのは、

■今、「言葉格差」がおきている

かつての「総中流幻想」が崩れ、世の中が階層化していることが問題になっている。主として経済的格差、という論点で語られることが多い。しかし、その裏で深刻化しているのは、「言葉格差」とでも言うべきものではないのか。

日本人の識字率は高く、かつてはほぼすべての家庭が新聞をとり、同じようなテレビを見、ラジオを聴き、日本人同士で「言葉が通じない」などあり得なかった。

ところが今や、新聞を読まない家庭が増えていく。テレビも、限られたバラエティー以外は視聴率が軒並み落ち込んでいる。ラジオは、音声のみで語られる言葉を頭の中で映像化する力が不足する人が増え、「聴けない」という人も少なくない。

ある階層は新聞も読む、本も雑誌も読んでラジオも聞かすが、ある階層は、ケータイメールぐらいしか日本語を読まない。その結果、日本語能力、言葉の習熟度に大きな格差が生じる。これが「言葉格差」だ。

例えば、最近よくニュースになる若者の「動機なき殺人事件」について街に出ているいろんな人にマイクを向ける。

ある若者集団の感想はこんな風だ。

「別に」「関係ねーよ」「うぜー！」

いきなり声をかけられた彼らが、取材を拒むのは当然の権利だ。しかし気になるのは彼らの日本語の語彙の貧しさ。自分の思いを記述する言葉を持たない者が、怒りを単純な暴力という手段で表現してしまう傾向が指摘されている。貧しい日本語能力し

か持てない彼らは、今後さまざまな場面で「言葉格差」の壁に苦しむことがありはしないか。

同じ取材を、別の若者集団に試みたとしても。彼らは、こちらの取材意図をすぐに理解し、各人各様の思いを多彩な語彙と共に語ってくれる。

「理由なき、なんて決めつけるのはおかしいと思うんです」

「自分の気持ちを言葉にできないもどかさから、短絡的な行動に走る気がする」

「だからって、即、殺人に結びつくか？」

「確かに、病理的な問題が背景にある感じはする」

先ほどの若者集団と、この集団の使用する「言語」が同じ「日本語」とは思えない。この国に暮らす者が等しく幸せを、豊かさを享受する権利が奪われてはならない。そのためには、「経済的格差」と同様、「日本語能力の格差」も見逃すことはできない。

日本語検定が果たすべき役割は少なくともないと信じている。

梶原しげる

神奈川県茅ヶ崎市生まれ。早稲田大学から文化放送にアナウンサーとして入社。

92年からフリーとなりテレビ、ラジオの司会を中心に活躍。2000年、東京成徳大学大学院心理学研究科を修了。

シニア産業カウンセラー、健康心理士などの資格を持ち、現在、相談室でカウンセリングを行っている。

東京成徳大学応用心理学部客員教授、日本語検定委員会審議委員。

JFN 系列 FM25 局「梶原しげるの NEXT ONE」日曜朝6時から生放送中（番組コーナーをポッドキャストで配信中）。

NBonline アソシエ「プロのしゃべりのテクニック」好評連載中。その連載をまとめた、DVD 付き最新ムック本を日経 BP 社より6月に発売。

著書に『口のきき方』『そんな言い方ないだろう』『すべらない敬語』（以上、新潮新書）、「老会話」（東洋経済）、「聞き管理」（徳間書店）、「雑談術」（日本実業出版社）ほか多数。

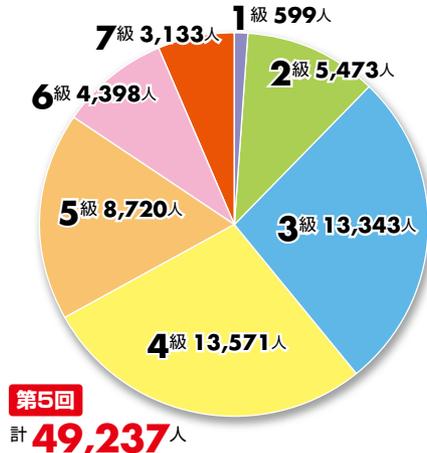
梶原しげる

ごけん情報板

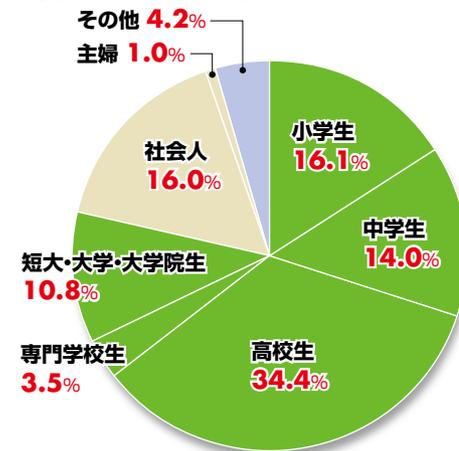
今年6月に実施いたしました、平成21年度第1回（通算第5回）日本語検定について、受検者数、受検者の学校・職業別割合と、各級の認定率をご紹介します。

◎平成21年度第1回(通算第5回)

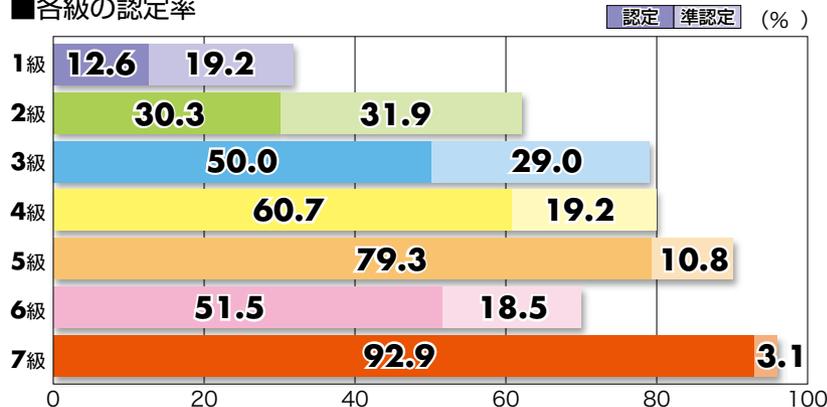
■受検者総数と級別受検者数



■受検者の学校・職業別割合



■各級の認定率



採点室から

21年度第1回の問題から、難問にチャレンジ!

■ 1・2級には、「□に入る適切な漢字一字を書き、その言葉を適切に用いている文を選ぶ」という問題が出題されています。その中で難しかったと思われる問題を、誤答とともに紹介します。

【意馬心□】(1級問題より—正答率14.6%)

- ①彼には、意馬心□の意気込みで事に向かっていく若さがある。
 ②意馬心□の状態になっている者に、理性で分からせようとしても無駄なことだ。
 ★(誤答例)「意馬心牛」で①。(正答)「意馬心猿」(いばしんえん)で②。

【□軸を流す】(2級問題より—正答率6.6%)

- ①数日来続いた大雨により、川は、□軸を流すような激流となっていた。
 ②外は、□軸を流すような雨になっていたの、出かけるのはあきらめることにした。
 ★(誤答例)「掛軸を流す」で①。(正答)「車軸を流す」(しゃじくをながす)で②。

【古□独歩】(2級問題より—正答率6.5%)

- ①卒業後、皆さんはひとりひとり社会へ出て古□独歩していかれるのですが、どうぞ初心を忘れずにいてください。
 ②博士は物理学の世界で古□独歩の業績を残し、科学技術の発展に大きく貢献した。
 ★(誤答例)「古道独歩」で①。(正答)「古今独歩」(ここんどっぽ)で②。

■ 3・4級には、パソコンで文を入力したときの変換ミスを指摘する(誤っている言葉の正しい書き表し方を記入する)問題が出題されています。その中で正答率が低かったのは、次のような問題でした。

○「電話番号非通知の不信な電話がかかってきたら、すぐに連絡してください。」
 (3級問題より—正答率43.7%)

★「不信」が「不審」となるのが正しいのですが、「不振」や「不心」とする解答も目立ちました。「不審者にご注意」などの掲示はあちこちで見かけますが、いざ書いてみるということになると案外……。

○「多くの非正規雇用者が、劣悪な労働条件を感受しなければならぬ状況に陥っている。」
 (3級問題より—正答率15.8%)

★「感受」が「甘受」となるのが正しいのですが、「換受」「勸受」「完受」などの当て字を書いたり、他の言葉を誤りとして変えてしまったりした解答も多くありました。

○「専門家によれば、このままでは前知事の落選は必死とのことだ。」
 (4級問題より—正答率43.7%)

★「必死」は「必至」が正しいのですが、ここを指摘するのではなく、「専門家」を「専門家」とするなどの解答がかなりありました。みなさんが「必死で」問題に取り組んでいたことの現れ……?

○「道路の格調工事によって、駅周辺の景観は一変した。」(4級問題より—正答率41.9%)
 ★「格調工事」の「格調」は「拡張」が正しく、「拡張工事」となるわけですが、「拡」を用いながら、「拡張」「拡調」としてしまう惜しい(?)解答もありました。

■ 1～4級の問題の中から、正答率が低かったものを取り上げてみました。もちろん、これらの問題が出来ないと該当の級に合格できないということではありませんから、ご心配なく。日本語検定委員会では、これらの結果も参考にして、今後の出題に生かしていきたいと考えています。

「日本語検定」受検テクニック!!

■意外にやっかいな「送り仮名の付け方」

突然ですが、次の言葉はどのように送り仮名を付けるか、分かりますか？

いきどおる (憤…) すこやか (健…) とらえる (捕…) わずらわしい (煩…)

漢字を訓読みする場合の送り仮名は、内閣告示の「送り仮名の付け方」によっているのですが、いくつかの原則のほか例外が非常に多く、ひとくりにまとめるのは困難です。それを承知のうえで、あえてポイントを抜き出してみます。

<p>原則1 活用のある語は、活用語尾を送る</p> <p>例 承る 書く 催す 生きる 潔い 主だ</p>	<p>例外</p> <p>恋しい 静かだ 味わう 大きい など</p>
<p>原則2 他の語を含む語は、含まれている語の送り仮名の付け方によって送る</p> <p>例 生まれる 輝かしい 重んずる 確かめる 照らす 向かう</p>	<p>許容</p> <p>※読み間違えるおそれのない場合は () を省いてもよい 生(ま)れる 聞(こ)える 晴(れ)やかだ など</p>
<p>原則3 名詞は、送り仮名を付けない</p> <p>例 月 鳥 花 男 女 彼 何</p>	<p>例外</p> <p>幸せ 後ろ 幸い 情け 一つ など</p>
<p>原則4 活用語から転じた名詞や、「み」「さ」「げ」などが付いた名詞は、元の語の送り仮名の付け方によって送る</p> <p>例 動き 代わり 香り 暑さ 重み 惜しげ</p>	<p>例外</p> <p>氷 印 煙 志 舞 隣 など</p>
<p>原則5 副詞・連体詞・接続詞は、最後の音節を送る</p> <p>例 必ず 更に 全く 来^{きた}る 及び 但し</p>	<p>例外</p> <p>明るく 直ちに 例えば 絶えず など</p>

送り仮名の付け方の決まりは、非常に多岐にわたっています。迷った場合には辞書で確認し、以降は個別に覚えておくようにするとよいでしょう。やや面倒ではありますが、手書きで文章を書く機会には避けて通れないところです。

今回のまとめ

送り仮名は、原則をふまえつつ、個別に覚えよう。

(上の答え：憤る、健やか、捕らえる、煩わしい)



「ごけん質問箱」では、皆様から寄せられた日本語に関する質問にお答えいたします。

送り先につきましては、最後のページをご覧ください。

質問 「魚介」と「魚貝」に違いはありますか？

回答 「魚介」と「魚貝」は、今日では同じ意味で使われていますが、本来は「魚介」です。『広辞苑』には、「魚貝」は見出し語としては取り上げてありません。意味が同じなら「魚貝」のほうが分かりやすいと考えた人がいたのでしょうか。『日本国語大辞典』によると、明治以降の文学作品に使われているのはすべて「魚介」です。

蘊蓄^{うんちく}の欲しい方に申し上げますが、「魚介」という言葉のもとになっているのは、貝原益軒(江戸時代前期の儒学者・本草学者)が著した『大和本草』(1709年[宝永元年]刊)と考えられます。中国明代の薬物事典『本草綱目』があまりにも分かりにくく膨大なので、益軒がその分類法を元に日本人に分かるようにまとめ直したものです。『本草綱目』に「鱗部魚類」「介部介類」「介部龜亀類」という分類項目があり、益軒は「介部」の二項目を一つにまとめて「介部介類」としています。この魚類と介類を合わせて「魚介類」という言い方ができたのでしょうか。事実『大和本草』の「介部介類」を見ると「亀・すっぽん・蟹(平家蟹)・かぶとがに」などが含まれています。これらは「貝」という漢字では表せません。

以上から、「魚介」は古典的な根拠を持つ造語であり、「魚貝」は、発音の類似から便宜的に作られた語であると言えます。

自分の言語能力を認識させるために



開成中学校 国語科 塚本 綾子 先生

本校では中学1年次の国語を国語1・2 a・2 b・3と4つに分けて行っており、週1時間の国語2 bの時間に、口語文法を勉強させています。普段使っている日本語に潜むルールに気付くことから、机上の勉強を超えて、「言葉」に広く興味関心を持ってもらいたい。そうした授業への思いと重なったのがこの「日本語検定」です。

授業では、一方的に日本語の文法がこうなっていると教えるのではなく、生徒の柔らかい頭と知的好奇心を無駄にしないよう、表現の実例をもとに生徒自身がルールに気付くことを重視していますが、中学3年間で学ぶ事項を1年間で扱うため、基本的な文法事項以外のことはなかなか織り込めないのが現状です。漢字にとどまらず、表記や言葉の意味、敬語など、広い分野に渡る言語運用能力をはかれる「日本語検定」に挑戦させたことは、そうした現状の中、大きな刺激となりました。全分野について一定のレベルに達していないと級が認定されないという点も、生徒のチャレンジ精神をくすぐったようです。

他の国語の時間や学校生活の中では文章を読み書きする機会も多くありますが、それでも中学生が自分の言語能力を客観的に意識するということはほとんどありませんので、日本語検定という形で自分の言語能力を認識させることが生徒の言語意識の向上にもつながっています。

「日本語検定」を通して、言葉に対する生徒の知識・意識が広がり高まってくれることを期待しています。

「日本語検定」を活用して

盛岡市立山岸小学校 鎌田 聡子 先生

担任として、子どもたちには、生き生きと学校生活を送って欲しいと思っています。しかし、中には、教師や友達と良い関係を保つこと、意思の疎通を行うことが難しい子どももいるのが現状です。それを解決するには、言葉で自分の気持ちを伝えられる子どもを育てること、つまり「コミュニケーション能力の育成」が不可欠です。

そこで、漢字や語彙など特定の分野に限定せず、日本語の総合的な運用能力を測ることの



「正しい日本語」に触れる機会を

九州産業大学付属九州高等学校 国語科 坂田 智子 先生

生徒たちと話す中で、ちょっとした慣用句やことわざに首をかしげたり、語尾が曖昧で、伝えたいことがわからなかったりと、日本語力の低下を感じる事がよくあります。その理由として、「正しい日本語」を話す機会が、今の高校生には不足しているのではないかと考えました。

敬語でしっかりと対応する、自分の気持ちを伝えるために豊かな表現を用いる、相手の質問に対してそれに見合った答え方を選ぶ。このような場面が少ないのだと思われます。部活動などを経験すれば、その機会もあるのですが、そうでない生徒は正しい日本語を話す必要がないのでしょう。面接練習を行った時にすら、何が言いたいかわからないことが度々あります。

国語の教員として、そういった現状が気になっていました。そんな生徒たちが社会人になったとき、それから改めようと思っても容易なことではありません。高校生活の中で、豊かな人間性を育むためにも、まず日本語能力の向上を目指すべきだと考え、生徒に「日本語検定」を勧めるようになりました。練習問題等を用いると、国語が嫌いな生徒でも、日本語の必要性は理解しているため、積極的にチャレンジします。普段の話言葉とは違う正しい日本語に戸惑う生徒は少なくありませんが、それが日本語を見直すいいきっかけになり、正しい日本語への興味が生まれるのです。

この「きっかけ」を増やし、日本語能力の向上を目指す上で、「日本語検定」を活用していきたいと考えております。本校では、生徒と同様、教員20名も受検いたしました。日頃、話すこと、伝えることを仕事としている私たちでも、「あれ？どっちが正しいだろう…」と頭を抱えることもしばしばで、正しい日本語を再認識するいい機会となりました。

今後も「日本語検定」を通して正しい日本語に触れる機会を増やし、日々の生活の中から「日本語」を見直していけたら、と思います。



できる「日本語検定」を活用することにしました。

日本語検定には、生活場面を想定した内容が出題されています。ですから、子どもたちは、自分の生活と合わせながら興味をもって取り組むことができました。特に、敬語の問題は、それを行った後すぐに実際の生活場面で使っている子どもがいました。文字通り子どもたちの「生きて働く力」となったようです。

また、問題が選択式なので、どの子どもも無理なく練習問題に取り組むことができました。朝学習などの短い時間で行えることも魅力です。

小学生である子どもたちが身に付けた日本語力は、これからの生活にきちっと役立つであろうと考えます。これからも、子どもたちが日本語を正しく使い、周りの人たちと楽しく関わることができるよう願っています。

募集

◇「宣伝会議賞」で、「日本語検定」のコピーを募集します

(日本語検定委員会は、宣伝会議賞に協賛しています)

「日本語検定」は今年で3年目を迎え、受験者数はおかげさまで回を重ねるごとに順調に増えています。しかし、「外国の方向けの検定ですか?」「漢字の検定ですよね?」といったお問い合わせが跡を絶ちません…。

そこで、「第47回宣伝会議賞」で、「日本語検定」の魅力进行正しく伝えるコピーを募集いたします。日本語検定の特徴を正しく伝え、多くの人に「受てたい!」と思わせる“粋”なコピーをお待ちしております。

- 募集期間 平成21年9月1日(火)～10月31日(土) ※当日消印有効
 ※『宣伝会議』9月1日号にて課題発表
 ※『宣伝会議』10月1日号にて「ワンポイントアドバイス」掲載

■課題内容 「日本語検定」の魅力进行正しく伝えるコピー

詳細は、下記 URL をご覧ください。

<http://www.sendenkaigiaward.com/>

◇「日本語大賞」に協賛しています

日本語検定委員会は、東京書籍の創立100周年記念事業「日本語大賞」に協賛しています。「日本語大賞」は、日本語をテーマにしたエッセイ、作文を広く募集し、優れた作品を表彰するコンクールです。

- 募集期間 平成21年8月24日(月)～9月24日(木) ※当日消印有効
- テーマ 「人と人をつなぐ日本語」
- 応募規定 【大学生・専門学校生・一般の部】2,000字～3,200字
 【高校生の部】1,200字～2,000字
 【中学生の部】1,000字～2,000字
 【小学生の部】800字～1,000字

詳細は、下記 URL をご覧ください。

<http://ten.tokyo-shoseki.co.jp/north-south/ten01833.htm>

にほんご にほんご劇場



絵: 福政真奈美

ひやくぶん いっけん 「百聞は一見にしかず」

人から何度も聞いて教わるよりも、たった一度でも自分の目で実際に見るほうがよくわかり、確かであるということ。

例 宮島のことは知っていたけど、実際に行ってみて改めて美しさに感動したよ。やはり百聞は一見にしかずだね。



平成21年度 第2回 日本語検定 受検案内

- [一般会場] **11月7日(土)**
[準会場] **11月6日(金)・7日(土)**
[申し込み期間] **8月1日(土)～10月9日(金)**
[実施都市] 全国の100都市以上で実施予定

[受検級の目安と受検料]

受検級	受検料	社会人	大学生	高校生	中学生	小学校 高学年	小学校 中学年	小学校 低学年
1級	6,000円							
2級	5,000円							
3級	3,500円							
4級	2,000円							
5級	1,500円							
6級	1,500円							
7級	1,400円							

※1級の受検は、準1級または2級認定（認定証の発行から満5年以内）が条件となります。

公式ホームページ <http://www.nihongokentei.jp>

プレゼント・クイズ

問題：「ごけん質問箱」で、今回質問のあった「魚介」という言葉の出典のもとと考えられているのは、貝原益軒の何という書物でしょうか。

『○○本草』

はがきに、クイズの答えと、お名前、性別、年齢、ご住所、ご連絡先（お電話またはメールアドレス）を明記のうえ、下記日本語検定委員会までお送りください。抽選で20名様に、日本語検定委員会特製のほごんストラップをプレゼントいたします。

平成21年12月31日の消印まで有効です。
当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。
（応募いただいた個人情報は、本プレゼント以外では使用しません。）

質問をおよせください！

日本語に関する質問を、お手紙やメールで、日本語検定委員会「ごけん質問箱係」までお寄せください。

いただいた質問の中から、日本語検定委員会・研究主幹の川本信幹先生がお答えします。

※ご質問は、日本語検定を受検された方か、受検を検討されている方に限らせていただきます。

※日本語に関する質問以外にはお答えしかねますので、ご了承ください。

メールアドレス

info@nihongokentei.jp

特定非営利活動法人

 日本語検定委員会

〒114-8524 東京都北区堀船2-17-1

【お問い合わせ先】 **0120-55-2858**

<http://www.nihongokentei.jp>